

2025年度「医療機関ニーズ対応型開発補助事業」（札幌市補助事業）補助金交付決定事業者一覧

No.	事業名称 および 事業概要	企業・団体名
1	砂糖の薬効を活かした皮膚疾患対応シュガースクラブ石鹼の開発 SUCRE（砂糖ケア）による NICU での試験・学会発表で得た知見をもとに、砂糖の創傷治癒力と保湿機能を応用した洗浄保湿型「シュガースクラブ石鹼」を開発。薬剤塗布前の適切な洗浄が求められる医療現場において、泡立ち・すすぎの負担や石鹼刺激に対応し、かぶれ・炎症など皮膚トラブルの修復と QOL 向上を図る。	株式会社アビサル・ジャパン
2	発達障害児支援のための、ププノート個別対応機能開発 小児科支援アプリ「ププノート」に、発達障害児への個別対応を可能にする 1 対 1 の通信機能を追加し、医療 DX を推進。紙や電話による煩雑な情報連携をアプリで効率化し、診療の質と患者満足度向上を図る。	株式会社クランバーズ
3	使用済み紙おむつリサイクル装置の製造開発と実証試験の実施 医療・介護施設向け「使用済み紙おむつリサイクル専用小型装置」の試作機 1・2 号を開発・製造。 特徴は熱エネルギー使用をせず、廃棄物を資源物としてコスト・CO ₂ 削減を可能とします。今回、2 号機の品質改良を行い、現場にて実証試験を実施し現場での性能検証及び運用コストの試算を行う。	サステナブルクリエイト株式会社
4	認知症対策へ記憶力を評価する簡便なアプリの開発 認知機能の早期発見・継続的な評価が重要視されており、現場では簡便で負担の少ないスクリーニング手法が強く求められている。タブレットやスマートフォンを活用し、視覚刺激とタッチ入力を組み合わせた短期記憶評価アプリを開発する。また、開発したアプリを使って認知機能の測定精度及び有効性を評価する。	株式会社サンクレエ
5	デジタル装具手帳への多職種連携機能の実装と実証実験 装具使用者の歩行状態や装具の状況を、医療機関・在宅リハ・在宅看護・義肢装具製作会社など多職種連携し継続的に共有できる体制が、現場で求められている。本事業は、装具フォローアップを目的としたアプリ『デジタル装具手帳』に、多職種連携を可能にする新機能（フレンド機能）を研究開発し現場導入の実証実験を行う。	有限会社テックワークス
6	測定困難な小児の血圧測定を可能にするウェアラブルセンサの開発 小児医療でも血圧測定は必須であるが、上腕にカフを巻くことへの抵抗があり、正確な測定は困難。違和感の少ないリストバンドでの血圧測定は有効であるが、血管の特徴・手首の太さなどは大人とは異なり、成人向けパラメタ・形状の適用は困難。小児でも違和感なく装着でき、正確に血圧を推定できるリストバンドを開発する。	株式会社ミルウス

※五十音順

- ◆応募件数 8 件
- ◆採択件数 6 件
- ◆補助金総額 5,000 千円